

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第35号—

令和3年1月8日

平戸市立津吉小学校

文責 校長 田川定司

世界の中で日本人としてよりよく生きていくために！ ～日本の伝統文化を知ること～

保護者・地域の皆様、新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。明るく希望に満ちた新年を迎え、この1年が子供たちの成長に実り多き年となるよう、教職員一同、力を合わせて頑張っていきます。皆様には、昨年と変わらずのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、お正月といえば、初詣、初夢、書き初め、百人一首、おせち料理、お年玉……など、日本の伝統的な風習や行事、遊びなどがたくさんありますが、津吉小の地域だからこそ体験できる伝統文化の体験もあります。ジャングルや津吉茶市、各神社の例大祭…と、たくさんの方々に関わりながら、地域、伝統や文化について学び、持続可能な社会の形成者を育てています。また、学校においても、生活科や社会科、総合的な学習の時間で多くの郷土学習や見学、体験活動を実施しています。



国際化が急激に進む社会の中で、子供たちが国際社会に貢献し、世界の人々から信頼される日本人となるためには、異文化に対する理解と協調が必要です。しかし、それは、自国の文化理解が基盤となって育まれるものです。日本の伝統文化を理解するために、学校では、子供たち自身が今日的な視点から日本の伝統や文化をとらえ直し、日本のすばらしさを誇りに思うと同時に、世界の中で日本人としてよりよく生きていくために、何をどのように生かしていくかについて理解し、実践する教育が求められています。これらは従来、日常生活の中で当然のものとして行われてきました。しかし、時代の変化とともに、家庭や地域社会において子供たちが伝統や文化について理解したり経験したりする機会が減り、子供たちが日本の伝統や文化の価値を学ぶためには、学校が核となって家庭、地域社会と連携を図りながら進めていくことが、ますます必要になってきます。

新年を迎え、改めて、子供たち一人ひとりの感性を磨き、興味・関心を引き出し、心を豊かにする授業にしっかりと取り組んでいきたいと思っております。子供たちのため、保護者・地域の皆様と共に力を合わせて津吉小学校を更によりよい学校にしていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いたします。

赤い羽根共同募金

今年度も児童会活動の取組として、12月に「赤い羽根共同募金」の活動を行い、23,258円の募金が集まりました。集まったお金は、代表児童が直接、社会福祉協議会へお渡ししました。

御協力ありがとうございました。

